

朝日新聞デジタル お客様は、食ベログやクックパッドなど提携サイトのプレミアムサービスを追加料金なしでご利用になれます。 デジタルコース限定 登録はこちら

朝日新聞デジタル > 記事

有料記事

新聞宅配申し込み

デジタル申し込み

五輪の財源、なお課題 都や組織委、増収など必要

2017年9月7日05時00分

シェア ツイート ブックマーク スクラップ メール 印刷

紙面ビューアー 面一覧



2020年東京五輪における都外の競技場

東京都と関係自治体の対立で結論が出ていなかった2020年東京五輪・パラリンピックの経費分担問題が、決着する見通しとなった。都を中心に調整した結果、競技会場を抱える都外自治体の行政経費の一部も宝くじで賄う方向で合意した。ただ、総額1兆4千億円近い巨額の経費をめぐっては課題も残っている。▼1面参照

「経費についての道筋がついた。それぞれの自治体に準備して頂く良いタイミングだ」。東京都の小池百合子知事は6日、分担問題にめどがついたとの見方を記者団

に示した。

都などによると、都外会場の運営費を宝くじで賄う計画について、当初は埼玉県や千葉県などが「都や大会組織委員会が負担する原則を守るべきだ」と反発。経費のうち、約350億円と試算された都外会場分の経費の根拠も不透明と批判され、都が改めて精査した。

その結果、観客で混雑する会場最寄り駅の警備費など、大会のために自治体が通常より追加で出費することになる行政経費の一部にも宝くじの収益を充当。自治体の負担範囲も詳細に取り決めることで、関係自治体と合意に至ったという。

これまで都の対応を批判してきた上田清司・埼玉県知事は6日、記者団に「きちっと整理できた。基本的にこれで決着したと思っている」と話した。黒岩祐治・神奈川県知事も同日の記者会見で「これで準備に全力を挙げていける」と合意を歓迎した。

一方、巨額の経費の財源はなおも課題だ。組織委は6千億円を負担する計画だが、スポンサーや入場料収入でめどがついたのは5700億円で、残る300億円分の増収を図る必要がある。同じく6千億円を負担する予定の東京都も、開催準備基金の残高が約3700億円にとどまり、残りの財源は決まっていない。別の基金から流用する方法も検討されている。

組織委によると、国際オリンピック委員会から「予算が高すぎる」と指摘されている。大会の詳細な予算は今年末をめどに編成する予定で、この中で総額が抑制できるかも焦点だ。

その他の社会面掲載記事

- 五輪の財源、なお課題 都や組織委、増収など必要
- ヴィトンやグッチ「やせ過ぎモデル」お断り 無理なダイエット防止狙う
- 医師の残業規制、先送り 法改正実現でも猶予期間

最新の朝刊紙面

東京 2017年09月07日 木曜日
地域面紙面
天声人語
社説



各本社朝刊紙面

朝夕刊バックナンバー



PR 注目情報



実は…わが家を売りました
24年前に買った家でも、4,380万円
で売れた。家を高く売るにはコレ→



安心・納得のピアノ買取
伸和ピアノはお客様の判断を最優先
査定・お引取費用は頂きません！



家作りの夢、ふくらませて
憧れの注文住宅、まずは情報収集から
事例集などカタログ一括請求はコチラ

10/1~3開催 朝日地球会議2017

登壇者・プログラム公開中 朝日新聞社

自分の体の状態を自分で測る

健康を保つための新習慣を考える

安全な運転のこと、考えてますか？

ペダルレイアウトが交通事故を減らす

夢を叶えるサポートをご紹介します！

よりよい社会と未来のために・・・

【無料申込】モデル近藤千尋の

「脱ワンオペ育児法」セミナー

朝日新聞とマイナビ転職がタッグ組む

厳選した求人情報をお届けします！

アクセスランキング

もっと見る